

口腔がん

【集学的治療の実施状況】

○耳鼻咽喉科

早期癌、進行がんのいずれも手術治療中心で治療を行っており、進行がんに関しては術後に化学放射線療法を併用する場合があります。また、口腔がんの術後は嚥下機能に問題が生じることがあるため、必要に応じて嚥下機能改善手術を行っています。

手術を望まれない場合には、放射線療法中心の治療となります。当院では動注化学療法併用の放射線治療は行っていません。

○形成外科

マイクロサージャリーの技術を応用した再建術を行っています。

○放射線科

画像診断と放射線治療を行う。

○栄養サポートチーム（NST）

医師、栄養士、看護師、薬剤師等が連携し、がんや治療の副作用による食欲低下、体重減少等に対するサポートを行っています。

○緩和ケアチーム

医師、認定看護師、認定薬剤師、管理栄養士、心理士、医療ソーシャルワーカーなどから構成されたチームが中心となり、患者の身体的苦痛や精神的苦痛の緩和に努めます。

《準じているガイドライン》

頭頸部癌診療ガイドライン（日本頭頸部癌学会）

がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

終末期癌患者に対する輸液療法のガイドライン（日本緩和医療学会）

がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

がん患者の呼吸症状の緩和に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン（日本ペインクリニック学会）

神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン（日本ペインクリニック学会）

在宅緩和ケアガイドブック（日本緩和医療学会）